

# すぎのこ

139

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264  
新館研修センター：〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155  
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2015 7/1

2面・3面 制作だより／発声講習会／園からの声 ほか  
4面 もぐもぐ劇場／JKA補助事業報告／事務局だより／新人紹介 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: [support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)

## 巡回公演だより

### わらしべ長者班

太田 正人

公演中に子ども達の行動でよく目にするのが、演じている我々が言ったせりふを真似してみていることです。演じている者としては、せりふを子ども達に真似してもらえると嬉しいのは、一瞬であつても印象深いシーンや演出、せりふであつたのかな、などと嬉しく思ったりします。

また、劇中歌やテーマ曲に合わせて手拍子をしてもらえるなど、自然に劇に参加してくれることでもあります。子ども達が物語の世界に入り込んでいると思われる時などは、登場人物である人形に声をかけたり危機を知らせたり、主

人公の体調を気遣ってくれたりすることもあります。

我々大人も、気に入った、または好きな映画やドラマ、小説などを観たり読んだりした時に、主人公の身の上を案じたり、せりふや口調を真似してみたりするなどは、身に覚えがある方も多いのではないのでしょうか。

物語を楽しむというのは、自分も登場人物と一緒にその世界を冒険する感覚が大事です。そういった意味から、人形劇などの生の舞台は、子ども達にとって感性を強く高めるものとなり得るのではないかと思います。もちろん大人にとつても、人形劇のような舞台に接することは、感性を刺激し、子どもの頃のような気持ち呼び覚まされたりすることもあるのではないのでしょうか。

子どもも大人も人形劇を観ていただきたい。そこからいろいろな世界が広がっていったらと、上演の旅の途中に思いました。

### とべー！ ドードー班

星野 翼

初めて班責という立場を任されて、たくさんさんの不安と、私でいいのかという疑問を持ちながら始めた新生ドードー班ですが、メンバーの菅谷香純さんと石山和佳さんのお二人に助けられながら、なんとか進んでいます。他の先輩方に

も多くの助力をいただきました。こんな頼りない班責です。いろいろな不満もあると思います。私自身、知識もなく経験も浅い、他の班責の方々と比べ、頼りない存在です。それでもなんとかやってこれたのは、班員のお二人が頑張ってくれたお陰だと思っています。

これからドードー班は東北、北海道、いろんな所に行きます。ママの人形劇を子ども達に楽しんでもらいたい、私たちが来たことによつて少しでも心動かされることがあればと強く願います。他の方々に負けたくない、後悔させたくない、そんな気持ちを持っていたいと思います。

### おだんごばん

長谷川 唯

初めての巡回公演。メインの役回りで演じさせていただき、吸収するものが多く、この経験は今後の糧となるでしょう。一方で、人に見せるものになるまでにはいろいろな過程があり、それぞれの役割を個々が果たすことで、初めて劇が成り立ちます。

自分の役に集中してしまいがちですが、どれも大切な役目であり、劇はチームで成り立っていることを忘れてはいけないと感じさせられます。

「バックン！」口車に乗せられて食べられてしまうおだんごばん。まだ何か展開があるだろう。そういった眼差しで、前に出てくる語り手の私を見つめる子ども達や先生方。しかし、期待を裏切るのかのように、お話はそこでおしまい。なんとも意外性のあるラストです。劇が進む過程でいかに役の魅力を

引き出し、盛り上げてラストにもつていけるか。それが見ている子ども達が感じる楽しさ、面白さのボルテージに繋がっていくように感じます。

公演後、「(メインである)『おだんごばん』を楽しみにしていたが、絵話も面白かった」という感想や、覚えてたのおだんごばんの歌を口ずさんだり、手遊びをしたりする子ども達の様子を見ると嬉しく思います。

幼少期の記憶は、成長と共にいづれ色褪せてしまうかもしれないけれど、今を純粹に生きている子ども達にとつて、楽しいと思える瞬間を一緒に創る手助けができたと思います。

### そっくりのくきのき班

榎本 均

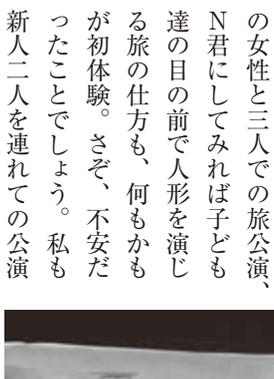
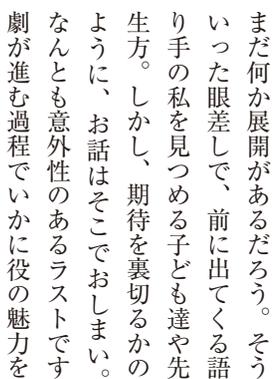
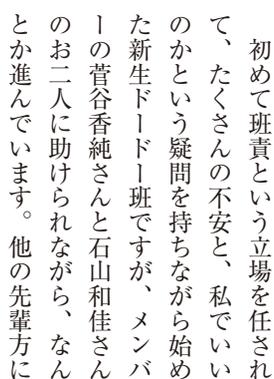
「そっくりのくりのき」は去年の今頃、新作で旅立ち、本年度で二年目に入ります。実は、この作品は十年前のリバイバルです。今は、北海道を巡回中ですが、十年前にも北海道を巡回していました。そして、ふっと、あの当時のことを思い出しました。

劇団内のそれこれ、身内話で申し訳ありません。あの時、新人で入団したN君と組み、やはり新人の女性と三人での旅公演、N君にしてみれば子ども達の目の前で人形を演じる旅の仕方、何もかもが初体験。さぞ、不安だったことでしょう。私も新人二人を連れての公演

は、さすがに悪戦苦闘の毎日、ただひたすら、一回一回の公演をこなす状況でした。

春浅き北海道は肌をさす、寒風と暗い曇り空の印象でした。あの時、N君と一緒に組んでやれてよかったと思う半面、何も教えてやれなかったなど不甲斐なさを感じます。よく言われるように、どの世界でも一人前になるまでは十年かかる。そのN君も十年以上経験を積む人形劇俳優になりました。

つい最近、その北海道で園の先生から「前(十年前)もよかったけど、今回は印象や内容は少しちがっていたけど、とてもよかった」と言われた時、何かツーンと鼻の奥まで感情がもちあがってきました。「命のつながり」という作品のテーマは変わらないけれど、十年を経て、何か、見方・とらえ方が変わったのでしょうか。それでも、目の前にいる子ども達の無垢な言動の姿は、命そのもののよう



# 制作をよ

気がつけば、今年も残すところ半年となりました。早いですね。夏休みに向けてソワソワしている子ども達も多いのではないのでしょうか。

そんな子ども達(と保護者の皆様)に、とっておきの情報をお届けします。

## ほんわか劇場

わだより

2011年の1月に始まったひとり人形劇「ほんわか劇場」は、皆さんに支えていただきながら今年まで続けてこられました。東京都内中心での上演が多いですが、ご希望があれば、いろんな地域にもうかがっています。

5月は新潟で上演させていただきました。一人で車を運転して新潟市内まで、前日の夕方に着きました。高速道路を運転しながら、まだ頂に雪の残る山々を見るのはとても新鮮で、これから出会う子ども達や先生方のことを想像しながらの楽しいドライブになりました。

上演は三日間でした。一回一回、上演が終わるまでは緊張の連続です。終わった後に「楽しかった」「また明日来てね」などと、子ども達の笑顔で言われると、「よし、また頑張るぞ」と力がわいてきます。そして、「どうぞこの子達が幸せに大きくなってください」と心の中で願うのです。上

第一弾！ 毎年恒例となりました長野県飯田市の「いい大人形劇フェスタ」に今年も参加いたします！

8月8日(土) 14:00/座光寺公民館/「かもとりこんべえ」「ずいてん」です。700円のワッペンを購入するだけで、8月4日~9日の期間中、すぎのこを含む有料公演以外の全ての人形劇を見ることが出来ます！

第二弾！ 8月23日(日) 10:00~17:00/埼玉県飯能市すぎのこ研修センター/「すぎのこ人形劇観劇会」を行います！

夏休み最後の思い出に、ぜひ遊びにいらしてください。観劇料は皆様の笑顔です！  
詳細は、飯能研修センター...  
042-971-4121 白石まで  
(白石 高章)

演後の先生方とお茶をいただきながらの語らいも至福のひとつで、これからの作品を創らなければいけないか、作品創りを考える基盤となります。観ていただく方々のエネルギーを創造の力に替えて、頑張っていきたいと心に誓った新潟の旅でした。



2013年秋に「ほんわか劇場 星の王子さま」、昨年の秋に「ほんわか劇場 ゾウさんのごあいさつ」を新たに創りまして。これからも細く長く上演を続けていきます。

### 池袋いけいけ人形劇まつりに参加して

二年前に「ほんわか劇場」で参加して、今年も「星の王子さま」で出演しました。1階から6階までのたくさんの会場で、プロアマ問わず多くの団体が参加します。同会場で、いくつもの団体が交代で上演をするのです。一つの出し物が終わると、すぐに次の出し物準備をして上演。それを一日に何回もやります。お

客さんいろいろな方が来ていて、通常の劇団での上演では味わえない感覚でした。

いつもは観客は子ども達が多いすぎのこの上演ですが、今回「星の王子さま」は子どもより大人のほうが多く、とても緊張しました。残念ながら観ていただいた方々の感想は聴けなかったのですが、一緒にの会場で上演をした人形劇サークルの女子学生が、「星の王子さま、感動しました」と一言感想を言ってくれました。これからの励みになりました。いろいろな方に出遭える場、池袋いけいけ人形劇まつり。来年も参加したいと思っています。



### ぐべー！ ドロー

■しらゆりこども園(静岡県湖西市) 子ども達から「楽しかった!」という声をたくさん聞きました。ありがとうございました。

■中里保育園(静岡県富士市) (年中) 時間的に飽きそうなのに歌や手拍子があり、それがちょっととした区切りになったようで、最後まで見る事ができました。

(年長) 子ども達の笑い声や表情から楽しんでいる様子が伝わってきました。地球や環境のことについては、ちょうどよい機会なので子ども達と話し合いました。

(他) いつもの観劇より集中して観ていたようでした。

### わらしべ長者

■桜井保育園(福岡県糸島市) 始まる前の簡単な挨拶のかくれんぼに、もう子ども達は大喜びでした。

0歳の子もじっと見入っていたのにはビックリです。保育士に促されてもやらなかったのに、曲に合わせて、進んで手拍子をとって一体感を味わっていたようです。

■なのみ保育園(大分県中津市) 劇に入る前の出し物が未満足でも喜んで見入ってしまうような内容であったり、子ども達に



▲静岡県富士市藤田幼稚園より

とって、怖い」と構えがちな場面での効果音が、怖い、と感ずるものではなく

興味を引くようなものであったり、長い話でありながら、途中で笑いを誘う人形の動きやせりふなどで、子ども達(特に未満児)は最後まで集中して見る事ができました。とても参考になりました。

### おだんごぼん

■紫竹山保育園(新潟県新潟市) 覚えやすく、また劇中に繰り返し出てくる手遊び歌に、小さい子どもも楽しむ事ができました。

ストーリーもわかりやすく、またおもしろく、全年齢が見ることができました。おじいさん、おばあさんの人形も大きく、見やすく、動きもユニークでよかったです。

■西五十沢保育園(新潟県南魚沼市) 大型絵話は、内容・語り・表現と、子ども達を引きつける内容とても楽しめました。絵の色合いや表情、表現力など、とても工夫されていてすばらしい

と思えました。「おだんごぼん」もさまざまな工夫がされていてよかったです。

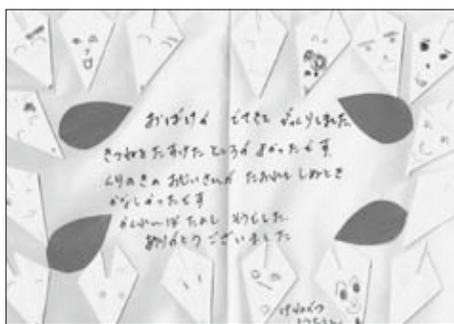
### そくひのひのき

■わかば愛育園 (北海道空知郡上富良野町) 今回のお話は内容もわかりやすく、2~3歳の子ども達も笑いながら楽しく見ることができました。時間が経つのも早く感じられるほど、最後まで集中して見ていました。

### 青葉保育園

(北海道日高郡新ひだか町) 今年は人数がいつもより多いなか、子ども達が一体となって盛り上がる姿に感動しました。劇中に歌がたくさんあって、子ども達が自然と手拍子をとって楽しそうでした。来年も職員共々楽しみにしております。

■苫前保育園(北海道苫前郡苫前町) 子ども達が参加できるしりとりでは応援する場面もあったりして、一人一人がお話の世界に自然と引き込まれていく姿が見られました。命がつながっていること、命を大切にすることを学ぶことができ、心温まるとてもよいお話でした。



▲北海道標津郡中標津町根別幼稚園より

# いけいけ人形劇まつり

5月に、東京池袋で開催されたいけいけ人形劇まつりに、「おだんごばん」で出演しました。一般公開だからこそ、すぎのこの人形劇を観られるという方もいます。巡回を中心にする人形劇団にとつて、希少な機会です。

大きなホールでの上演には、独特の緊張感があります。普段は子ども達の呼吸を感じる距離で人形劇をやっているのに、観客の顔が見えない会場には戸惑いましたが、無事、盛況のうちに終了しました。他劇団の方々と知り合う機会の

## 発声 講習会

すぎのこでは、巡回公演の傍ら、人形のつかいや影絵の作製などに関する講習会を行っています。今回の九州巡回公演でも、公演先の保育士の先生方を対象に「声の出し方」の講習会を行いました。

日頃から大勢の子ども達を相手にお話をされている先生方ですから、声については相当気を配っていらっしゃると思っただけですが、講習会冒頭に、保育中に声が枯れてしまった経験について尋ねると、何名かの方が手を挙げていらっしゃいました。

そこで講習会では、発声や生活における呼吸の基礎となる腹式呼吸の方法をお話するところからスタートしました。声枯

少ないすぎのこにとって、貴重な交流の場でもあります。今年で28回目を迎えるこのイベントには、プロやアマチュア、50団体以上の人形劇団が参加しました。人形劇への愛情と情熱を持っている人がこんなにもたくさんいるのかと感激しました。

人は誰でも出会いによって学びます。今回の縁を一つのきっかけとして、アンテナを張りながら広い視野を持ち、成長したいと思えます。

(野見山 大輔)

れをおさえるための声の出し方、明確で聞き取りやすい発音をするコツなどを、風船や手鏡といった小道具を用いたトレーニングを交えつつ、ご紹介しました。先生方にとっては風変わりなトレーニングだったようで、戸惑いながらも一生懸命に、そしてとても楽しそうに練習なさっていました。講習会も終始笑顔でリラックスした雰囲気が進み、あつという間に予定の時間が過ぎてしまった、という印象でした。

実は、講習会に先立ち、私自身の声の出し方の手法的な確認と講習のための予習を兼ねて、最近出版された発声に関する本を参考にしました。その際、書かれていた発声の技法と技法を紹介するにあたっての著者の理念に、新鮮な衝撃と感銘を受けました。

もちろん、発声や発音に関し



ては、普段から意識しています。意識しているからこそ、問題点を別の方向からの視点で紹介されると、より具体的に実になるアドバイスとして受け止めることができるのだと感じました。

先日の講習会冒頭でも申し上げたのですが、声には、「この人のこの声が一番」というものはないと考えています。人の声は楽器のようなもの、それも、どれ一つとして同じものがない、世界で唯一の素晴らしい楽器です。けれども、その声を魅力的に響かせるには、楽器と同じくちょっとした調整のコツを身につける必要はあるのだとも思います。そのちょっとしたコツを知るお手伝いとして講習会をご案内しておりますので、ご興味をお持ちくださいましたら、ご相談ください。

(橋崎 数馬)

## 賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々、当面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。

### 公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に「賛助会規程」を以下に定める。
  - 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
  - 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
  - 賛助会員になるうとする者は、申し込み用紙に必要な事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
  - 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
  - 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。



すくすくレモン(入会3年未満)



すくすくルビー(入会5年以上)



すくすくオレンジ(入会5年未満)

すぎのこは「税額控除対象法人」ですので、個人の方の賛助会費の一部は所得税の「税額控除の対象」として確定申告により納税額から控除されます。

### 【税額控除について】 税額控除額の算出式

個人が支出した賛助会費(寄付金)について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式により算出された額が、所得税額から控除されます。  
〔税額控除対象寄付金(※1)-2,000円〕×40%=控除対象額(※2) ←この額が所得税額から控除されます。〕

※1 税額控除対象寄付金～税額控除対象法人(すぎのこ)への寄附金額(賛助会費)

注: 寄付金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄付金となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

確定申告時に、領収書と証明書の写し(領収書に同封)を添付して下さい。

お問い合わせ、ご入会は support@suginoko.org または 03-3984-2396 (事務局)



# もぐもぐ劇場

旅公演に出ている間、朝、目が覚めると私が始めることは、声を出すことです。もちろん、他のお客さんに迷惑にならない音量です。そして、のどに問題がないと安心して出発の準備に入ります。なぜ、こんな事をするのか...というと、人形劇は、一部の表現方法を除き、人形操作とそれに伴うせりふとで成りたっているからです。

51年前、テレビで人形操作をしていた、私の師匠である故・小澤アキラは、人形劇俳優は、人形操作だけでなく、せりふも

話せなければならぬ...と、すぎのこを創立してナマの舞台を全国の子ども達に届けてきました。これからも、人形操作・せりふに精進して、よりよい舞台を届けていきたいと思えます。

(下村あきら)



## 公益財団法人 JKA 補助事業



公益財団法人JKAより補助を受け、平成27年度青少年の健全な成長を育む活動補助事業「保育者のための人形劇教室」が開始いたしました。

人は己より弱いと思うものに対し、心を開きゆとりを持つことができます。幼児にとりて人形は、まさに心を開ける相手と言えます。未来を担う「創意と行動力のある心の優しい子」を育むために、時間をかけない、お金をかけない、それでいて効果的な保育現場での人形活用法を伝授していく必要があると考えます。

「保育現場での人形劇の有り方」「身の回りのものを利用した人形

の作り方」「人形の基本的操作」「簡単な影絵の作り方」「基本的な影絵の使い方」等の中から、受講者の要望を取り入れ、指導内容を組み立て、保育現場に根ざしたキメ細かい講習会を展開して参ります。公益財団法人JKAのご支援に心より御礼申し上げます。



## 事務局 だより

### 研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」があります。いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。

音楽や演劇等の芸術文化活動

飯能研修センター



婦恋研修センター

はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびとお使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

婦恋村にある「すぎのこ婦恋研修センター」近くには、海拔1200m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワールーム・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもバーベキューが楽しめる集会所、アスレチック広場等が整備され、多目的に活用できる施設となっています。

埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所でありながら閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、研修室、和室、男女更衣室、シャワールームを完備しており、研修や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用された折には、ぜひ散策してみてもいかがでしょうか。

各施設の利用可能な期間や時間等、詳細につきましては下記へお問い合わせください。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org

または03-3984-2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または042-971-4121

(創造部)

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子ども達にナマの舞台の感動を届ける仲間(劇団研究生・人形劇俳優)を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じて、たくさんの方の笑顔に出会えることがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、長期間の出張が可能な方、子どもも好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私達の活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。

活動内容や条件等、詳しくは左記へ連絡ください。  
E-mail/support@suginoko.org  
または03-3984-2396 (事務局)



## 人紹介



熱田 春香

新生活でも物々交換をよくするので、「わらしべ長者」に出演が決まった時は、何か縁を感じました。ひよんなことから人形劇の求人を見つけ、旅生活を始めた私。綿毛のように、メアリーピンズのように、フワリ！ 風に乗ってお話を届けます。

## 活動記録(平成27年4月~6月)

- 4/1 公益財団法人JKA補助事業「保育者のための人形劇教室」内定通知書受理
- 4/29 創造部公開イベント「於・飯能研修センター」池袋いけいけ人形劇まつりに参加 於・コアいけいけくろ(東京都豊島区)
- 5/5 第一期全国巡回公演開始
- 5/8 発声講習会開催 於・みどりがおか幼稚園(福岡県福岡市)
- 5/13 第8回定例理事会 於・当財団事務所
- 5/22 公益財団法人JKA補助事業「保育者のための人形劇教室」決定通知書受理
- 5/28 第4回定例評議員会 於・当財団事務所
- 6/2 平成26年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出
- 6/16 発声講習会開催 於・浦佐認定こども園(新潟県南魚沼市)